もみ殻堆肥　　バイムフード

材料　　使用量は一例です。

A	もみ殻（乾物）	1000 kg
B	乾燥鶏糞	120 ～ 200 kg
	米ぬか	30 kg
他	尿素	6 ～ 10 kg
	バイムフード	2 kg

※尿素を使用しない場合は、乾燥鶏糞を 200kg 程度入れてください。

1. 材料を用意します。

2. 水分含量は60～70％に調節します。
(水分含量の目安は握りしめて水分がにじむ程度です。)

3. 尿素を適量の水に溶かし、もみ殻全体に散布します。
(尿素水はもみ殻への浸透性が高いとされています。尿素を使用しない場合、しっかり2回水打ち、あるいは仕込み後温度が下がってきた段階で水の追加を行います。)

4. もみ殻の上に乾燥鶏糞、米ぬか、バイムフードを広げます。

5. 材料が均一に混ざるようにホイルローダーなどで混合します。
その後発酵を促すため堆肥舎に積み込みます。

6. 好気性発酵を促すため、定期的な切り返しを行います。（水分が不足しているようなら散水します。）
切り返しのタイミングは以下の表を参考に行ってください。

堆積期間、切り返し

仕込み開始	全材料を混合/堆積
7日目	1回目切り返し
14～15日目	2回目切り返し
21～25日目	3回目切り返し
	1~2ヶ月放置

仕込みから3ヶ月後 使用可能

7. 仕込みから3ヶ月以上発酵を継続して完成です。
臭気もほとんどなく、光沢のある茶褐色（アメ色）になれば使用可能です！

焼け堆肥（カス堆肥）

NG

水分が不足すると温度が70度以上まで上がり、焼け堆肥（カス堆肥）になります。微生物相が単一化、有用な養分も分解・飛散し土壌改良効果も低くなります。